

15 ツチフキ
Abbottina rivularis

(コイ科)

兵庫県ランク:要調査
環境省ランク:EN

種の概要

全長10cm程度。カマツカに似るが吻が短く、頭が丸みを帯びる。体形はより太短い。1対の短い口ひげを持つ。下流域のワンドや平野部の池沼、農業用水路などの泥底に生息する。雑食性で、底生動物やデトリタスを食べる。国内では濃尾平野以西の本州と九州北部に自然分布する。

写真なし

県内における生息状況及びその他特記事項

加古川水系の佐治川より記録がある。県内の記録は国内移入種、または他種との誤認の可能性は否定できないが、本種は国内の分布域での減少が著しく、兵庫県に自然分布地があった場合、絶滅の危機に瀕している状況だと考えられる。情報を求めるためにも要調査種とした。

保護上の留意点

近年、国内の自然分布域内での減少が著しいとされている。ワンドや池沼、水路などの流れが緩く、泥底の環境に生息する種であることから、このような環境の消失、環境変化が脅威になっていると考えられる。

県内分布
丹波市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○

